

国際ロータリー会長  
ウィルフリッド J.ウィルキンソン  
地区ガバナー  
渡辺 敏彦  
北クラブ会長  
山中 正  
幹事  
小林 繁男  
SAA  
安田 貞夫



# 三条北ロータリークラブ週報

例会日 2007.7.24 累計 No.999 当年 No.4

例会日:火曜日 12:30 ~ 13:30  
例会場:三条ロイヤルホテル TEL 34-8111 FAX 34-8114  
事務局:三条市本町 3-5-25 三条ロイヤルホテル内  
TEL 0256-35-7160 FAX 0256-35-7488  
ホームページ: <http://www.sanjo-nrc.org>  
メールアドレス: [north@sanjo-nrc.org](mailto:north@sanjo-nrc.org)

## 本日の出席:

68名中47名  
先々週の出席率:  
68名中54名79.41%  
(前年同期83.50%)

## 6月の出席状況:

会員数66名例会数4回  
平均出席率75.91%  
(前年同月81.42%)

## 先週のメイクアップ:

7月19日小千谷RCへ  
山本 賢さん  
19日燕RCへ 岡田 健さん  
19日三条東RCへ  
山中 正さん、笹原壮玄さん  
20日クラブ奉仕B合同委員会  
(敬称略) 瀧岡 茂、本間重満  
丸山達夫、落合益夫、今井克義  
木宮 隆、齊藤興一、丸山 勝  
青柳康博、大野新吉、相田恒彦  
金子太郎、米山キクエ  
高森武志、坂井太一、岡田大介  
横田加代子、佐藤文夫  
山中 正、小林繁男  
21日新世代奉仕合同事業  
山中 正さん、坂内康男さん  
馬場直次郎さん  
22日国際奉仕フォーラム  
駒形 実さん  
23日三条南RCへ  
石川勝行さん、中條耕二さん

## 本日の行事:

卓話「環境製品あれこれ」

## 会長挨拶

### 山中 正会長



新年度に入り4回目の例会を迎えました。本日もメンバーの皆様には大変お忙しい中を、例会にご出席頂き誠にありがとうございます。

さて、私、先般の7月19日三条東RCさんの例会の卓話の指名を頂戴し訪問致しました。皆様ご承知の通り本年度より三条東RCの例会場はこのロイヤルホテルさんとなりました。事務局も設置されております。これからは例会場が一緒ですので双方にメイクアップし易くなりより一層のコミュニケーションが高まるものと思います。当日は、私の他、当クラブより笹原会員、そして燕RCの片山先輩がお出でになっておられました。片山先輩は三条北RCの例会と間違えてお出でになっていらしたようです。いずれにしても2年目の三条東RCですがしっかりと例会運営をされていました事に安心致しました。

先般の7月21日地区の新世代奉仕委員会が主催する『次世代を担う青少年へのメッセージ』のタイトルで元、NHKのニュースキャスターで現、千葉商科大学教授の宮崎緑さんの講演会が開催されました。宮崎緑さんの講演テーマは『世界はいま～法と倫理とエチケット～』でした。当日ご参加頂きました、当クラブの新世代奉仕の坂内委員長さん、馬場副委員長さんには大変ご苦労様でした。会場は新潟市紫竹山にございます学生総合プラザ「STEP」でした。ここは渡辺ガバナーのNSGグループの施設です。ロータリアンの他、ローターアクトの皆様、インターアクトの皆様、そして専門学校の生徒さん等、200名程の参加者でしょうか?中越沖地震の影響もあって決して多い参加者ではなかったと思います。

さて、来る7月31日は1,000回記念例会として開催されます。夜例会のスタイルで、ここロイヤルホテルで開催されます。100%出席を目指したいと考えています。多くのご出席をお願い致します。しかし、ロータリーメンバーは何方でも大変忙しい方々ばかりです。都合で夜例会に出席できないメンバーの皆様は日中、ロイヤルホテルのカウンターで「記帳」を用意しております。ご利用下さい。また当日、地元にはいらっしゃるメンバーの方は、他クラブのメイクアップまたは記帳でのご出席をお願い致します。

そして、メイクアップを含めてではありませんが、1000回記念例会を、100%出席をもって皆さんで、喜びを分かち合いたいと思います。

地区から、この度の中越沖地震の『義捐金募金』の協力要請が来ております。8月の理事会で協議させて頂き対応致したいと考えております。おそらくボックスを廻し、皆様方からご協力賜わる事となると思っております。その節は宜しくお願い致します。



## 幹事報告

### 小林繁男幹事

- ・渡辺ガバナーより 公式訪問の御礼
- ・渡辺ガバナーより  
「インターア外年次大会」無期延期のお知らせ  
柏崎市で開催予定でしたが中越沖地震の為無期延期と致します。
- ・渡辺ガバナーより  
中越沖地震災害義捐金のお願い  
被災されたクラブ、会員各位には心よりお見舞い申し上げます。  
義捐金の額は各クラブにおませ致します、各位のご協力を宜しく願います。地区としては8月末日で〆切りといたします。

- ・越後春日山RCより 例会日変更のお知らせ  
7月より毎週木曜日とします(従来は火曜日)
- ・埼玉ユネスコ協会より  
「ネパール学校建設プロジェクト」「ネパール奨学里親プログラム」協力のお願い
- ・国際ロータリー日本事務局より  
ポールハリスソサエティ認証ピン送付について 斎藤 正会員
- ・丸山正男会員の電話及びFAX番号が事業本部移転の為変更となりました。  
新住所 三条市下須頃62-1-5  
電話 36-5513  
FAX 47-7227

## ニコニコボックス: 24日現在累計154,000円

- 坂内 康男君 この度、義母を送りました。7年の同居でした。皆々様に只々感謝です。心ばかりですが、今後とも宜しく願います。
- 金子太一郎君 初めての卓話、緊張します～。
- 相田 恒彦君 金子さん本日卓話楽しみにしております。又、ご苦労様です。
- 外山 晴一君 柏崎の地震にはビックリしました。チェルノブイリの二の舞にならなくてよかったです。東京電力と国がしっかり危機管理をして欲しいです。
- 高森 武志君 (同じ一年生会員) 金子太一郎さんの卓話に・・・！楽しみです。
- 石川 友意君 金子さん卓話ご苦労様です。
- 早川 瀧雄君 金子会員の卓話楽しみです。
- 本間 重満君 ”
- 小林 満君 ”
- 中條 耕二君 金子太一郎会員の卓話に期待し、ご活躍をお祈りします。
- 星野 義男君 金子太一郎さんの卓話に感謝して！！
- 佐藤 弘志君 金子さん卓話ご苦労様です。
- 丸山 勝君 BOXに協力
- 栄長 隆文君 ”
- 駒形 実君 ”
- 阿部 勝子君 良いお天気で心も晴れ晴れとした気分で過ごしたい今日この頃です。金子さん卓話宜しく願います。

## 米山奨学ボックス

- 山本 賢君 金子さん環境製品のお話ありがとうございます。米山BOXも宜しく願います。

## 卓 話



皆さんこんにちは。今年入会させていただきました金子です。この度、はじめて卓話の機会を頂きましたが、何を話してよいのか本当に困りました。ましてや今まで30分もお話した経験が無いもので内容を決めるまで苦労しましたが、一番話しやすいのは体験談だと思い、私自身、今まで取組んできたことを、いろいろ取り混ぜてお話させていただきます。

昨今、環境問題がとやかく言われておりますが、それに関連したお話をさせていただきます。当社は総合商社であります。以前から焼却炉を扱っておりまして、丁度5年前の平成14年12月に、規制が強化されて一般的には使用できなくなりました。当然、在庫も含めて販売できなくなるのですから大変なことになるなと思いました。ところが抜け道がありまして構造基準というものをクリアすれば使用できるということでした。その構造基準とは火床面積が0.5㎡未満で焼却能力が1時間あたり50kg未満で、助燃装置が付いていること、これは新たにバーナーをつけることですが、燃焼温度を800℃以上にたもつ為に取付なければならなくなりました。ダイオキシンは800度以上で抑制されますのでそれ以上の温度に保つため、取付なければならなくなりました。これはなにか本末転倒のような気がしますね。というのは物を燃やすのに更に化石燃料を使って燃やすのですから、エネルギー効率から見れば無駄なエネルギーを使っていることになります。

それと連続投入するために二重扉を設置しなければならなくなりました。燃焼したら中の空気と外の空気を触れさせなく投入するためです。

それと燃焼の温度を測るために温度計の取

## 「環境製品あれこれ」

金子太一郎会員

り付けです。排気ガスの温度が800℃以上になるように監視するためです。

更に送風機を取付けて空気を強制的に送り込んでやります。これで完全燃焼させます。このような部品や付属品を付けますとコストがかかり大変高額なものになり、以前のように気楽に購入というわけには行かなくなりました。大体200万から500万円もするものが主流になりまして、一般的には直ぐに手が出るものにはならなくなりました。

そんな中、もっとリーズナブルな価格帯で提供するために、焼却炉を中国で製造するというお話を頂きまして、その時初めて物を作ることに参加させていただきこれが私自身大変、貴重な体験をさせていただくことになりました。売れそうな価格帯を設定して、その価格から逆算してものを作ることにしました。とりあえず100万円位で売れるものを目標に製造にかかりました。なぜ、100万円かと言うと、いろいろ回ってみますと、100万円位なら購入するよという声が多く、そこから立てた価格帯です。また、製作するにあたって、煙を出さずに焼却するというのがこれほど単純なことではないことがはじめてわかりました。燃えはじめの状態と燃え盛んな状態や鎮火するときの状態では煙の状況が違います。

煙というものは2種類ありまして、白い煙と黒い煙があります。白い煙というのは温度が低いときに出来ます。燃え始めの時に出る、くすぶる煙ですね。その時はバーナーで高温にします。また、黒い煙というのは酸欠状態の時にしやすいです。その場合は送風機でよく空気を送り込んでやります。その時の状態によって煙がでる理由があるのでそれに対処して完全燃焼させてやれば煙は出なくなります。煙草を吸われる方は煙草の煙にライターの火を近づけてみて

ください。煙が消えますので。結局、物を燃やして苦情が出るのは煙を出してしまうからなんですね。大体が隣近所からのクレームです。煙を出さないように燃やせば、何の問題もないと思います。

ところが最初はそんなことがよくわからず、最初に製造した何10台かはうまくいかず、いろいろと不具合がありまして、お客様にご迷惑をおかけする羽目になりました。それでこそいま、いろいろと中国製品が問題になっておりますが、このニュースが5年前でしたらもっと大変なことになったことだと思います。その後、現地で燃焼実験を繰り返し、改良を加えやっとな得の行くところまでできました。

今は国産品ですと廃プラを燃やすことができる焼却炉まで出ています。整備工場向けに好評です。バンパー、オイルフィルターからタイヤまで燃やせます。さらに今年、塩ビまでも対応できる焼却炉が出ました。これは業界初で画期的な事なのです。塩ビはご存知の通りダイオキシンの元区なので、業界では燃やさないでくださいということになっておりますが、一応、燃焼可能になりました。

そもそも物が燃えるということは、今まで人類の生活にきっても切れない関係だと思いません。暖房器具やお料理や工場や神社仏閣など火がなければ成り立ちません。又、最近では薪ストーブなどがブームで、そこには炎を見ていると人間を癒してくれる効果があります。本能的に人類は炎が好きなのです。

いま循環型社会を形成するために国をあげてリサイクルに取り組んでおりますが、もちろん大切なことですがすべてが本当にリサイクルでよいのかと疑問を抱くことがあります。先日、「[環境問題はなぜウソがまかり通るのか](#)」という本を書いた武田邦彦教授の本を読みましたが、大変興味のあることが書かれておりました。この本はテレビでも大変話題になり既にお読みの方もいらっしゃると思いますが、そこにはペットボトルのリサイクルについて痛烈に批判しております。単純にペットボトルをリサイ

クルするのに、新品のペットボトルを製造する3.5倍の石油を消費しているし、トータルで考えると資源を7倍使うことになるという説明しております。リサイクルするために回収運搬するトラックの燃料や人件費や分別のための施設の設置など付随する経費がすごくかかっているのだと説明しております。ペットボトルは資源に占める割合が少ないので、むしろ焼却するのが環境に一番で合理的、かつ効率的と説明しております。

また、ダイオキシンの毒性についても批判しております。1999年に所沢産の野菜から高濃度のダイオキシンが発見されたという報道されましたが、そこから国民がダイオキシンの存在を知りました。これはマスコミが作り上げたものだと。しかし、日本で一番ダイオキシンの濃度が高かったのは1970年ごろでそのほとんどが水田に散布された農薬に含まれていたということだそうです。どうも日本人はダイオキシンが含まれていたお米を長い期間食べていたらしいということだそうです。ダイオキシンは自然界にも普通に存在する物で、数億年前から地上にあることがわかってきたそうです。

ダイオキシンの生成される条件というのは3つありまして①「有機物」と②「塩化ナトリウム」系つまり塩などですが、それと最後に③「300～500度の高温」であるということです。日本では昔から囲炉裏があり、そこで蒔きや炭などを使って生活してたわけですが、その中にはダイオキシンがかなり含まれていたと思いますが、誰もダイオキシンで亡くってはいないというものです。また、一つの例として焼き鳥屋のおやじさんが出ておりましたが、鶏肉に塩をかけて丁度400度～500度で焼いておりますが、これはまさにダイオキシンの発生条件にかなっておりますが、誰もダイオキシンで死んだという話は聞いたことがないと書いてありました。ダイオキシンは無毒だと言い切っておりました。マスコミが作り上げた仮説だということらしいです。

このように環境問題には大義名分はよいのですが、経済的に不合理なこともたくさんあるので冷静に考えることのようにです。環境と付くと話題づくりには、もってこいの感じがありますね。

当社も毎年開催される「東京環境展」に出展しておりますが、そこに新しい処理装置がお披露目されます。装置事態の性能や技術はすばらしいものがありますが、この装置を使ってリサイクルや或いは処理を行うとなるとコストと言う問題が絡んできますので、単純には導入できないのが現実だと思います。

コスト対効果ということを考えていくと、まだまだ簡単に導入できない製品がたくさんあります。

さらに、リサイクル製品には驚かされるものがあります。まず、5年前に紹介されたのですが「炭化装置」というリサイクル製品です。「炭化」とは炭に化かすと書きます。御存知の方もいらっしゃると思いますが、これは有機物のものを炭に変える装置です。いまでは炭は大変有効に使える物質ですが、廃棄物が炭になれば捨てずに有効利用できます。たとえば牛糞や鶏糞や、あるいは下水汚泥などが炭化してその後、炭になれば燃料として使ったり、肥料としても再利用できます。理論的にはすばらしい装置ですが、コストが高くて採算性が悪く現実的には導入が難しい装置です。私の中ではこれを燃料にして火力発電の補助燃料にならないものかと、電力中央研究所まで、訪問したこともありましたが、輸入炭が安くて更に火力発電所まで運ぶ運賃がかかりすぎて採算に合わない感じでした。

また、たまたま当社のホームページでこの炭化装置をPRしてましたら、3年前のことですがインドネシア在住の商社の方から問い合わせのメールがありまして、インドネシアの首都ジャカルタのゴミをこの装置で処理できないかとオファーがありました。とりあえず現地に来てくれということでメーカーの方含めて総勢6人で行くことにしました。その時は、初め

て自分自身で海外の旅行日程を立てて行ったのですが、まして初めて行く国なので不安でいっぱいでしたね。訪問するに当たって、やはりインドネシアのことを少しでも勉強しようと旅行の本を買ってきたり、インターネットで調べたりしましたが、インドネシアの方と話すのが一番だなあ思い、あのころ本寺小路にマガンダクラブがありまして、その当時インドネシアパブになってまして、インドネシアの女性がたくさんいましたので、そこに通いましていろいろ情報を得てましたら、私がインドネシアで訪問する会社のことをマガンダクラブのある女性に話したら、その会社の事務の子と知り合いだという女性がいて、その時インドネシアと三条の近さを感じました。それまでインドネシアなど意識してなかったのですが、せいぜい皆さんもイメージするのはバリ島とかデヴィ夫人のことぐらいだと思いますが、インドネシアと日本は大変友好関係があるのですね。インドネシアは日本にとって重要なエネルギー供給国で、天然ガスは第一の供給国になんてすね。また、日本はインドネシアに対する最大の政府開発援助（ODA）供与国でさらに友好関係が深いですね。また、インドネシアにとって日本は最大の輸出入国です。また、地理的には1万7500の島で構成され、2億4千万人の人口で世界第4位です。

こんな豆知識を得て成田から出発してジャカルタの空港に着くと、その依頼のあった会社の方が出迎えてくれて、驚いたことに入国審査もパスにしてくれました。最初すごい力のある会社の方々なのだなと思っておりました。しかしその日に、その方々が言うにはインドネシアという国は訪問した人たちが、ご馳走するのだということを知られて、それで私たちが夕食をご馳走したり、また、車のレンタカー代も払わされたりなんか変な習慣だなと思っておりました。それで翌日から案内されてゴミの処理場を視察しましたが、東京の夢の島みたいに一般ゴミが山積みになっていて、その周りには浮浪者の住まいがあり、ゴミを漁って食料にして

いるなどとても治安が悪くリサイクルどころの話ではなかったです。さらにテロが何回か発生しており、ホテルに入るにも銃を持った警察関係の人たちが車の中や下回りやトランクまで必ずチェックされました。道路では子供をおんぶした女性が走ってる車に向かって手を上げてお金をせがんでおりました。貧困で困っている人たちが大勢おりましたね。ましてや首都ジャカルタの大通りですよ。本当に治安の悪さが印象的でした。

装置を設置するのにオリックスリースのジャカルタ支店まで訪問しましたが、情勢不安で今は現地ではリースが組めないとのことでした。その後その現地の会社の方々と何度か打合せをしていると段々とおかしいことを言ってきたり、帰国して気づいたのですが、そのような詐欺まがいの事件がよくあるということらしいのでその手の話だったのかなと思いました。今思えばとりあえず成立しなかったのが幸いだったのかなと思いました。私にとっては貴重な体験でしたね。

次に2、3年前から、「有機物分解装置」あるいは「セラミック製造装置」などといって、磁気を使って有機物を分解してセラミック質の灰に変えてしまうものがあります。これは小型焼却炉みたいなものにゴミを投入して密閉します。そこに火をつけてくすぶらせます。その時酸素を消費していき中が真空になりますが、そこに外と中を結ぶ管がいくつもあり、その通路に磁石があり中に空気が入る時磁気を帯び、その磁気を帯びた空気でも有機物を分解していき、だいたい投入量の300分の1になります。そしてその灰はセラミックス灰として土壌改良剤などとして再利用できるという装置です。この装置は九州のある方が開発したらしいのですが、開発途中で断念して、その権利を何人かの人に売ったらしく、その後この装置をめぐって5、6箇所研究開発されてましたが、利権争いが耐えないです。私も4箇所同じ装置を見ましたが、皆さん自分のところが一番だと言って、一攫千金を狙っている感じでした。こ

の装置のすばらしいところはランニングコストがかからず、大変画期的な装置ですが、化学反応で処理するので処理速度が遅いのとコスト的にまだ高価なことと新しいこともあり、信用性にかけている面もあってこれからの普及がどうなるかに期待したいところです。

その他、最近では地球温暖化の話題で連日報道されておりましたが、その原因となる二酸化炭素を減らすために行政や大企業が努力をしております。皆さんも御存知の通り、来年から始まる京都議定書で日本は1990年比で二酸化炭素をマイナス6%削減しなければなりません。ところが今では逆に8%増えて合計14%も削減しなければならない状況です。このままですと到底実現できない状況です。そこで京都議定書では排出権取引を認めておまして、基準値よりも減らした国は、その減らした分を減らせなかった国へ販売できます。いまそこに目を付けた大企業がこの排出権ビジネスに注目して海外で二酸化炭素の削減に努力しております。その削減分を国に販売しようと目論んでおります。今年日本でも排出権市場が開設されるらしいです。新聞の記事で「日本政府1億トン購入」などと載っておりましたが今後売り手市場になるそうです。

また、日本の大企業や大手商社は以前から植林事業を手がけておりますが、ほとんどがユーカリの木です。この木は最短で8年くらいで成木して紙の原料になります。二酸化炭素の吸収力というのは成長期にはたくさん吸収してくれますが、成木になりますと、二酸化炭素を吸収してくれません。日本の山間部にある杉などはほとんど成木状態なので、吸収してくれない状態ですね。

ですから、日本の森林に入っても空気はそれほど新鮮ではないのです。

「カーボンニュートラル」という言葉がありますが、木を燃料として消費してその分を植林する。つまり二酸化炭素を吸収した木を燃やしても化石燃料と同様に二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を発生するが、植物は、成長過程で光合成によ

りCO<sub>2</sub>を吸収しており、ライフサイクル全体でみると大気中のCO<sub>2</sub>を増加させず、収支はゼロであると考えられます。このように、CO<sub>2</sub>の増減に影響を与えない性質のことを「カーボンニュートラル」と呼びます。カーボンとは炭素のことですが。また、事業活動などで生じるCO<sub>2</sub>の排出量を、植林や自然エネルギーの導入などによって実質的に相殺してゼロに近づける取り組みのことも、カーボンニュートラルと呼ばれ、世界の企業や金融機関などによって導入されております。

最近、5年で成木する木が誕生しまして、更に二酸化炭素の吸収力が杉の10倍ということでユーカリに替わって有力視され、今後どん

どん植林される可能性のある木が誕生しました。さらに成木して伐採してもそこから、また芽が出て繰り返し成長します。その気は桐の木で「スーパーポローニア」という木です。御存知の方もいらっしゃると思いますが今後さらに注目されそうです。

まあ、このように環境関連にかかわるビジネスがたくさんありますが、今後のこの市場の広がりや新製品の動向に注目していきたいと思います。

本日はどうもありがとうございました。

## 会員の声

今年も女子ゴルフのヨネックスレデースオープンが8月24日から3日間寺泊のヨネックスカントリークラブで開催される。今年で確か9回目となると思う。

トーナメントの前日に行われるプロアマ大会には1回目から毎年、私と山口さんと今井さんとで一緒に出場してきました。

1回目は1999年私が北RCの会長の時、何度も賞金女王となっている涂阿玉でした。その後は名前を言っても皆さんには分からない様なプロばかりでほとんどが予選落ちで帰っていきました。(それは決して我々のせいで無い事だけは申し添えておく!!)

その証拠に2003年の大山志保プロもその時は予選落ちでしたが昨年は賞金女王にもなり、現在は日本女子プロの第一人者になった。

一度でも一緒にプレーしたプロが活躍してテレビに映るのはうれしいものである。

今年は誰と回るのか、大変楽しみである。(これは当日ゴルフ場に行くまで分からないのである)プロゴルフは近年、藍ちゃんの登場以来、女子の方が人気のようなのである。

男子も負けてはいられない。そこでハニカミ王子の登場だ。人気者が1人でも出てくれれば男子ツアーも盛り上って来るだろう。期待したい。

今年はヨネックスからも専属女子プロが誕生する。地元の若林舞衣子である。皆さん共々応援しよう。

佐藤 義英

8月の記帳受付

1	日	(水)	三条 R C	(三条信用金庫本店)
7	日	(火)	田上あじさい R	(田上町商工会館)
14	日	(火)	田上あじさい R	(田上町商工会館)
16	日	(木)	燕 R C	(燕三条ワシントンホテル)
16	日	(木)	三条東 R C	(三条ロイヤルホテル)
17	日	(金)	吉田 R C	(山岸会計事務所)
21	日	(火)	分水 R C	(新潟大栄信用組合本店)
21	日	(火)	田上あじさい R	(田上町商工会館)
27	日	(月)	三条南 R C	(三条信用金庫本店)
30	日	(木)	燕 R C	(燕三条ワシントンホテル)
31	日	(金)	吉田 R C	(山岸会計事務所)



米山奨学委員会  
宜しくお願いします

親睦活動委員会  
いつもお疲れさまです

